

令和4年度 こども発達支援センターぴーち 児童発達支援事業 事業所内評価結果

		チェック項目	はい	どちらか いいえ	いいえ	改善目標・工夫点
環境 / 体制 整備	①	支援や訓練などに使用するスペースは、利用定員に対して適切であるか？	90.9%	9.1%	0%	施設としての配置基準、設備基準は満たしているため、用途と人数に合わせて、臨機応変に対応していく。
	②	職員の配置数は適切であるか？	90.9%	9.1%	0%	多職種連携を意識し、ゆとりのある配置を基本的に行っている。しかし、訪問支援や外部への事業に参加する職員がいると、一部の職員に負担がかかったり、配置的にも手薄に感じる場合も実際にある。仕事量の分配や職員の有給の取り方など上手く調整しながら、職員一人一人が安心して支援を行えるようにしていく。
	③	施設の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切であるか？	100%	0%	0%	発達段階が利用児によって異なり、危険回避のためにバリアフリーが適している子もいれば、スキル獲得のためにバリアフリーが適さない子もいて、さまざまである。現状、特に問題なく過ごしているが、今後の制度改革等でよりバリアフリーが必要な子を受け入れていく場合には、その都度必要に応じて対応していく。
業務 改善	④	業務改善を図り、多くの職員がモニタリング・支援検討会議などに参加しているか？	100%	0%	0%	職員会議やモニタリング検討会議など、全員の職員が情報共有できるよう、時間帯の調整や閲覧方法の工夫を行なっている。
	⑤	アンケート等を実施し、保護者の意向などを把握したうえで、業務改善につなげているか？	100%	0%	0%	アンケートで頂いた意見のほか、普段の生活での気になる点などのご指摘の下、児童のネームプレートの作成や職員の名札着用を行った。LINEでのやりとりが定着し、保護者からの意見を受け取る機会も増えている。今後もニーズに合わせた対応を行なっていく。
	⑥	この自己評価の結果を、施設だよりやホームページ等で公開していく予定であるか？	100%	0%	0%	今年度も3月にホームページ上で公開予定。ぴーちだよりでも保護者の方に発信していく。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか？	90.9%	9.1%	0%	実習生や見学者、ボランティアの受け入れを随時行っており、第三者からのご意見・ご要望をいただき、業務改善に繋がるよう心掛けている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか？	100%	0%	0%	Zoom等のオンライン形式での実施が増え、研修に参加出来る機会が増えており、職員会議等の場で伝達研修も行っている。また、支援の仕方や福祉分野・各専門分野での知識について、毎月職員が一人ずつ施設内研修を行い、知識獲得やスキルアップの向上を図っている。
適切 な 支 援 の 提 供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、児童発達支援計画を利用しているか？	100%	0%	0%	利用開始時や利用目的変更時など、現状の発達段階や必要な支援等を確認・共有することができている。ぴーちでの集団療育・個別療育での様子に加え、自宅や園での様子なども加味し、多面的な視点でその子自身を捉えられるよう意識出来ている。
	⑩	活動プログラムの立案をチームで行っているか？	90.9%	9.1%	0%	活動プログラムはチームで立案し、日々の活動以外にも行事やイベントの話し合いも十分に時間を取って行なっている。ただ、立案が口頭のみになってしまっているため、今後は紙面に残すことも含め、検討していく。
	⑪	活動プログラムは、楽しめるように工夫されているか？	100%	0%	0%	コロナの感染リスクを抑えられるように、人数設定や行う場所、時間帯での実施など、意識してプログラムを組んでいる。季節の行事等は、1日単位の実施ではなく、行事週間という形で、なるべくたくさんの子が関わられるように工夫した。
	⑫	平日、長期休暇など、利用時間に合わせた支援内容・課題が組み込まれているか？	90.9%	9.1%	0%	学校の授業スタイルと同様、毎朝一日の日報をホワイトボードや始まりの会で提示し、子どもたち自身が見通しをもって過ごせるように工夫している。また、時間帯によっては、活動を自分で選択して行えるように、個々の趣向などにも配慮し、課題や遊びを提供している。
	⑬	支援開始前には、職員間で打ち合わせをし、その日の内容や役割分担を把握できているか？	90.9%	9.1%	0%	毎日ミーティングでメンバーや支援内容の確認をしている。また、保護者や関係機関とのやりとりをする役割などの確認も行っている。臨機応変な対応が求められることもあるので、全員が意識をもって動けるようにしていく。
	⑭	支援終了後には、職員間で打ち合わせをし、その日の振り返りや共通理解をおこなっているか？	90.9%	9.1%	0%	実際の様子、今後の課題、保護者への伝え方など、その都度職員間でも確認を行っている。入園や就学・関係機関との連携の部分については、誰が携わるのが適切なのかも含めて、今後もその都度検討していく。
	⑮	日々の支援に関して、適切な記録を心がけ、今後の支援内容・改善につなげているか？	100%	0%	0%	ミーティングや申し送りノートでは、必ず情報共有しているが、その後の進捗状況は不十分になってしまうことがあるので、意識して取り組んでいく。
	⑯	地域の方や施設外の子供たちとも交流する機会が用意されているか？	100%	0%	0%	施設として保健センターや児童センターでの支援や勉強会を行う機会がたくさんあり、地域の中で関わることができた。児童の子どもたちはなかなか直接関わる機会がもてないので、今後の課題として検討していく。
	⑰	定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しに役立っているか？	100%	0%	0%	モニタリングに限らず、入園・就学・子育ての相談など、随時直接・電話・ラインなどを通して行えるようにしている。今後も気軽に相談できる雰囲気大切にしている。
	⑱	ガイドラインの総則を理解し、活動にいかせているか？	100%	0%	0%	ガイドラインを踏まえて、法人として、施設としての方向性を決めている。施設内での子どもの活動はもちろんのこと、家庭環境にも並行して働きかけていくことで、今後もトータル支援が出来るように働きかけていく。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	⑲	サービス担当者会議に参画し、相談支援員とともに現状の把握と理解に努めているか？	90.9%	9.1%	0%	対面での会議は難しい状況だが、電話などを通してその都度情報の共有や調整は出来ている。相談支援事業所・担当者によっては、やりとりが不十分なこともあるので、今後も意図的に働きかけ、適切な関係性を築けるようにしていく。
	⑳	保育園・幼稚園との情報共有や連絡調整などは、随時行っているか？	90.9%	9.1%	0%	さくら市内の園とは比較的情報の共有などを行っている。園長や担任が変わると方向性もガラッと変更していくので、年度の切り替え時には特に大切に関係を作れるようにしていく。
	㉑	小学校や特別支援学校との間で、移行に向けた支援内容などの情報共有や相互理解を行っているか？	100%	0%	0%	教育支援委員会や該当児童の担当者会議にも参加しているため、各学校とも比較的情報共有・引き継ぎができていく。場合によっては、情報提供書や知能検査の結果を添付し、わかりやすい伝達を心掛けている。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援などの関係者や関係機関と連携した支援を行っているか？	100%	0%	0%	教育委員会、市役所、保健センター、児童センターからの受託事業などもあり、こまめに連携を図ることができている。今後も丁寧な連携を意識し、地域の中での役割を担っていくようにする。
	㉓	他の事業所や専門機関と連携をし、助言や研修を受けているか？	90.9%	9.1%	0%	研修を受けた際は、必ず施設内暖経つ研修を行ない、共有できるようにしている。また、知識や情報の共有を他機関とも行えるように企画し、少しずつ発信できる体制を整えている。
	㉔	地域の自立支援協議会等へ積極的に参加できているか？	100%	0%	0%	自立支援協議会など市役所や保健センターとの連携を大切に、地域への発信を心掛けている。
	㉕	日頃から、保護者と子供の発達や課題について、話しあっているか？	91.9%	9.1%	0%	発達や課題について、適切な知識や技術がないと、十分に相談しあうことが出来ないため、職員の質の向上も含め、施設内勉強会などを強化していく。また、ゆとりを意識し、話しやすい雰囲気や時間など環境設定を大切に考えていく。
㉖	保護者に対して、ペアレントトレーニングができているか？	100%	0%	0%	今年度もペアレントプログラムやペアレントトレーニング、各種勉強会を開催することが出来た。該当者のみの案内になっていたため、今後は年間予定表を配布し、全員に周知できる体制をとっていく。	
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	㉗	運営規定や支援の内容、利用者負担などについて丁寧な説明を行っているか？	100%	0%	0%	契約時や幼保無償化移行期には、必ず説明を行っているが、複雑な料金システムのため、わかりにくいかもしれない。今後は、利用開始直後は時に意識して、説明を追加していく。
	㉘	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか？	100%	0%	0%	放デイ説明会や就学準備説明会のようなグループで行う相談だけでなく、個々の状況に合わせて個別相談も取り入れている。また、対面相談だけでなく、電話やラインなどでもタイムリーに応じられるように意識している。
	㉙	保護者同士の連携を意図的に用意できているか？	100%	0%	0%	保護者通園日に父子の日なども取り入れ、幅広い層の方が育児に携われるようにしている。また、勉強会や説明会などを通して、保護者同士でも気持ちや情報を共有できるように働きかけている。
	㉚	子どもや保護者からの苦情に迅速かつ適切に対応できているか？	100%	0%	0%	お子さんや保護者の方のニーズや気持ちに気づけるように、感じ取る力を大切に考えていく。辛い大きな苦情には繋がっていないが、日々の意見や要望に耳を傾け、早めに対応できるように意識していく。
	㉛	施設での行事予定・連絡や確認など、必要に応じて発信できているか？	100%	0%	0%	ぴーち便りや個別ライン、公式ラインなどを駆使し、漏れなく発信できるように意識している。ラインが普及したことにより、個々の様子も写真などで伝達できるように変わってきた。
	㉜	個人情報に十分配慮できているか？	100%	0%	0%	毎年個人情報の同意書を取り、何にどのような状況なら掲載可能なかを確認し、合意を図った上で対応できるように意識していく。
非 常 時 等 の 対 応	㉝	非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練を行っているか？	100%	0%	0%	火事・地震などに備え、毎月避難訓練を行うようにしている。単独通園日・保護者通園日などいろんな場面を設定し、子どもたちの意識も高まるように促している。
	㉞	虐待を防止するため、職員に研修の機会を取り入れるなど、適切な対応ができているか？	100%	0%	0%	毎年、障害特性・支援の仕方・メンタルヘルスなど施設内研修を取り入れている。また、その都度支援の仕方や考え方など、意識や技術を学べる機会や相談できる時間を用意している。
	㉟	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応をしているか？	100%	0%	0%	アレルギー対応が必要なお子さんは基本的にはアレルギー対応指示書の提出を行っている。除去対応するほどではないが、多少心配なお子さんに対しては、おやつ作りなどの行事の時には、事前に使用する食材の成分表示を保護者の方に確認してもらい、摂取量なども含め、確認をとっている。
	㊱	ヒヤリハット事例集を作成して、施設内で共有しているか？	100%	0%	0%	子どもへの支援内容だけではなく、お家の方への支援でも意識していった方が良いことなどは、その都度ヒヤリハット集やミーティング、申し送りノートで共有し、同じ間違いを起こさないように検討している。